

エコアクション21 環境経営レポート

【 2023年8月1日 ～ 2024年7月31日 】



発行日 2024年10月1日



環境経営方針

企業理念

有限会社津乃峰設備の事業活動 建設業(管工事、水道施設工事業)を通じて、地域・地球環境保全が人類共通の重要な課題の一つであることを認識し、地域・地球環境保全に積極的に取り組み、循環型社会システムを実現するために社会貢献に努めます。

方 針

(1) 当社の事業活動 建設業(管工事、水道施設工事業)に関わる環境影響を常に認識・理解し、従業員一丸となって自主的・積極的に環境への取組と継続的な環境負担の低減を図るため以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減(総エネルギー使用量の削減)
- ② 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- ③ 水使用量の削減
- ④ グリーン購入の推進
- ⑤ 製品への環境配慮(過剰在庫ロス削減)
- ⑥ 化学物質使用量の把握
- ⑦ 地域清掃活動等の社会貢献活動

(2) 事業活動に関わる環境関連法規、条例、その他の要求事項を遵守します。

(3) 取引先に発注できる会社になるように努めます。

上記の方針達成のために目標を設定し、環境経営計画に従って実施します。
また定期的に見直し、継続的に環境経営システムを改善し、全従業員に周知します。

制定日 2011年4月1日

改定日 2019年4月1日

有限会社 津乃峰設備

代表取締役 小島 一洋

【 会社概要 】

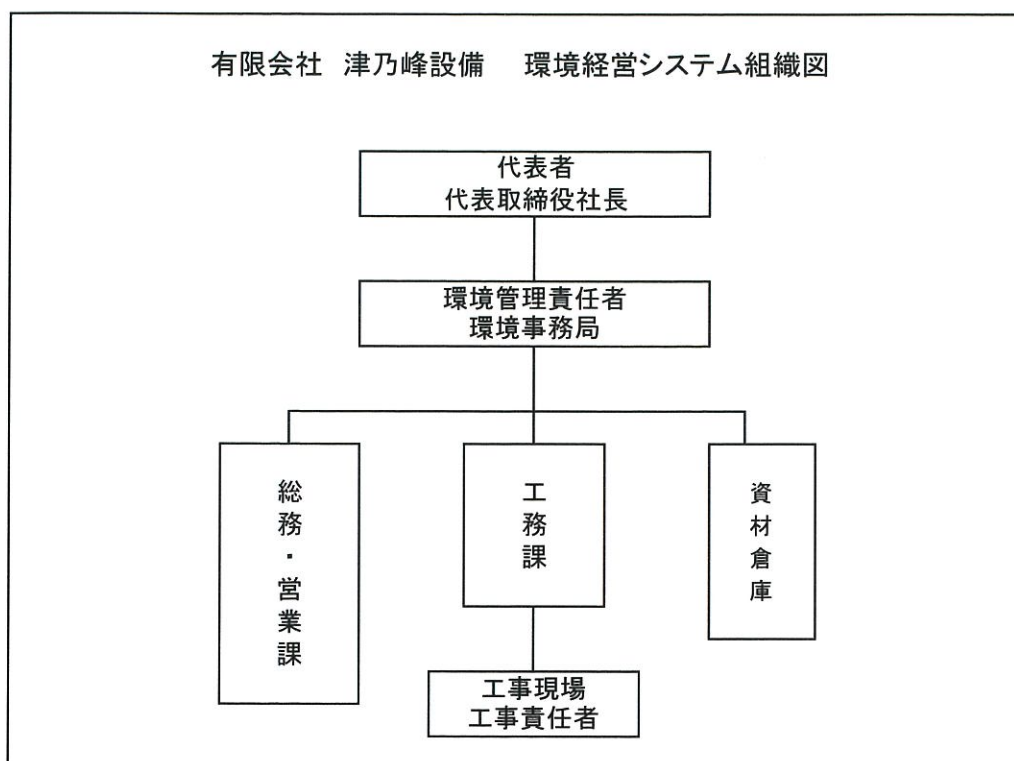
- (1) 名称及び代表者名
有限会社 津乃峰設備
代表取締役社長 小島 一洋
- (2) 所在地
本 社 徳島県小松島市日開野町字時信53-3
倉 庫 徳島県小松島市日開野町字井理守73-1
資材置場 徳島県小松島市中郷町字前田110番1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 総務課 茂村 真紀
TEL : (0885) 33-3902
FAX : (0885) 32-3755
E-mail : tunominesetubi@leaf.ocn.ne.jp
- (4) 事業年度
令和5年度(R5.8.1～R6.7.31)
- (5) 事業内容
建設業
・ 管工事業、水道施設工事業
- (6) 事業の規模
- | | |
|----------|-------------------|
| 完成工事高 | 1億292万円／年(2023年度) |
| 従業員 | 10名 |
| 本社延べ面積 | 212.98㎡ |
| 倉庫延べ面積 | 186.31㎡ |
| 資材置場延べ面積 | 1,494㎡ |

【 認証・登録の対象組織・活動 】

全組織・全活動を対象とします

- (1) 対象組織
有限会社 津乃峰設備 、 倉庫 、 資材置場
- (2) 活動の範囲
建設業(管工事業、水道施設工事業)

【 環境経営実施体制図及び役割・責任・権限 】



	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの目標/経営計画を策定、運用する ・環境経営実施計画書を作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境関連法規等及び遵守評価チェックの実施 ・レポートの作成、確認
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成及び遵守評価 ・環境経営実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
課長	・環境経営計画の具体的な取組内容を実践し推進する ・現場において作業員への環境教育を推進する
工事責任者	・環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を認識し実践する ・環境に関する法令の整理及び周知指導 ・問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

【 環境経営目標(事務所、現場) 】

作成日:2024年10月1日

- (1) 2020年度を基準として二酸化炭素排出量、電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量及び水使用量は1%ずつ削減する。
- (2) 産業廃棄物については工事により変動するので、リサイクル率を目標とする。
- (3) グリーン購入は事務用品を対象とし100%とする。
- (4) 製品への環境配慮は過剰在庫を削減する。

項 目		2020年度 2020.8.1～2021.7.31 実績(基準値)	2023年度 目 標 基準比2%削減	2024年度 目 標 基準比3%削減	2025年度 目 標 基準比4%削減	2026年度 目 標 基準比5%削減
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		27,015	26,475	26,205	25,934	25,664
二酸化炭素排出原単位 (kg-CO2/売上高(千円))		0.15	0.15	0.15	0.14	0.14
電力使用量 (kWh)		9,664	9,471	9,374	9,277	9,180
燃料使用量	ガソリン (L)	3,358.81	3,292	3,258	3,224	3,191
	軽油 (L)	4,998	4,898	4,848	4,798	4,748
産業廃棄物	リサイクル率 (%)	98.1	98.3	98.4	98.5	98.6
	排出量 (kg)	190,542	186,731	184,825	182,920	181,015
一般廃棄物 (kg)		261	256	253	251	248
水使用量(排水量) (m3)		260	255	252	250	247
グリーン商品 (品目)		10	10	10	10	10
製品への環境配慮(過剰在庫ロスの削減)(%) 実使用量/購入数量		92	94	95	96	97
化学物質使用量の把握(会議) (回)		年4回	年4回	年4回	年4回	年4回
社会貢献活動(清掃活動) (回)		年4回	年4回	年4回	年4回	年4回

【備考】 二酸化炭素排出係数:0.454kg-CO2/kWh (2023年度四国電力)

注:環境目標は事務所と現場を合算に記載する。

【 環境経営目標とその実績 】 (期間 2023年8月1日～2024年7月31日)

- (1) 2023年度の目標値は2020年8月1日～2021年7月31日の数値の2%削減の数値とした。

項 目		2023年度 目 標 基準比2%削減	取組み期間実績 2023.8.1～2024.7.31	評価 達成率(%)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		26,475	26,905	98%
二酸化炭素排出原単位 (kg-CO2/売上高(千円))		0.15	0.26	57%
電力使用量 (kWh)		9,471	10,446	90%
燃料使用量	ガソリン (L)	3,292	4,787.5	68%
	軽油 (L)	4,898	4,285.2	114%
産業廃棄物	リサイクル率 (%)	98.3	99.6	101%
	排出量 (kg)	186,731	282,854	66%
一般廃棄物 (kg)		256	195	131%
水使用量(排水量) (m3)		255	214	119%
グリーン商品 (品目)		10	10	100%
製品への環境配慮(過剰在庫ロスの削減)(%) 実使用量/購入数量		94	94	100%
化学物質使用量の把握(会議) (回)		年4回	4回	100%
社会貢献活動(清掃活動) (回)		年4回	4回	100%

【備考】 二酸化炭素排出係数:0.454kg-CO2/kWh (2023年度四国電力)

注:環境目標は事務所と現場を合算に記載する。

【 主要な環境経営計画の内容 取組み結果の評価と次年度の取組み内容 】

(事務所・現場)

(2023年8月1日～2024年7月31日)

	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量(基準比2%削減) ・空調の適温化、扇風機の併用 ・不要時、休憩時の消灯 ・クールウォームビズの励行 ・OA機器の省電力化設定 ・エアコンのフィルター掃除  	目標: 9,471kWh 実績: 10,446kWh 達成率: 90%	目標達成。 OA機器の退社後、夜間、休日主電源オフの実施はできている。冷房・暖房時の適温化はこまめな温度調整を徹底していく。 次年度も同様継続する。
	燃料使用量(基準比2%削減) ・エコドライブ10の励行 ・車両整備を適正に実施 ・荷積載の徹底管理 ・建設機械のアイドリング防止 ・建設機械等作業時過負荷運転防止 	(ガソリン) 目標: 3,292L 実績: 4,787.5L 達成率: 68% (軽油) 目標: 4,898L 実績: 4,285.2L 達成率: 114%	目標未達成。(ガソリン使用量) 遠距離現場によりガソリンの使用量が増えた。重機、ダンプの燃料は必要不可欠であるが定期点検や車両整備に努める。 次年度も目標達成に取り組む。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物(コピー用紙)の削減(基準比2%削減) ・プレビューの徹底、裏面使用 ・事務用紙の使用削減 ・ミスプリントはメモ用紙に使用 ・メール・FAXにて通達 	(一般廃棄物) 目標: 256kg 実績: 195kg 達成率: 131%	目標達成。 裏面使用の徹底、電子メールを活用により紙の排出量の削減に繋がった。 次年度も引き続き継続していく。
	産業廃棄物(混載)の削減 ・材料発注時、正確な数値で発注 ・分別排出、選別の徹底・リサイクル ・不要物の持込禁止の呼びかけ ・廃棄物の保管場所と掲示 ・マニフェスト管理、保管確認 	(産業廃棄物) 目標: 98.3% 実績: 99.6% 達成率: 101%	目標達成。 工事内容に影響されるが、産業廃棄物は現場内において適切に再資源化できている。 更なる有効利用にも努める。 次年度も同様継続する。
水使用量の削減(基準比2%削減) ・こまめに蛇口をしめる ・定期的に漏水点検 		目標: 255m3 実績: 214m3 達成率: 119%	目標達成。 各自水筒持参、日常的な節水、漏水確認により削減できた。 次年度以降も同様継続する。
グリーン購入の推進 ・エコマーク商品を優先的に購入 ・グリーン商品調達の徹底 ・詰替商品の購入 		目標: 10個 実績: 10個 達成率: 100%	目標達成。 定期的に対象品をチェックし、なるべく負荷の少ない製品の利用に努める。 次年度も積極的に取り入れていく。
製品への環境配慮(過剰在庫) ・極力現場実測し、ロスをなくす ・環境配慮型製品 		目標: 94% 実績: 94% 達成率: 100%	目標達成。 環境配慮型製品の知識を高め、業者情報を参考にしながら資材導入を進める。 次年度以降も在庫管理を徹底する。
化学物質使用量の把握 ・年間4回の会議 		目標: 4回/年 実績: 4回/年 達成率: 100%	目標達成。 SDSを把握し、化学物質の混入がなるべく少ないものを選定してきた。 次年度以降も継続していく。
社会貢献活動 ・年間4回会社周辺の清掃・美化活動の参加 		目標: 4回/年 実績: 4回/年 達成率: 100%	目標達成。 次年度以降もアドプト事業・倉庫の清掃等積極的に活動していく。

6. 2023年度環境経営計画/実施記録
(2023年8月 ～ 2024年7月)

作成日	2023年7月1日	チェック日	2024年8月31日
作成者	茂村 真紀	チェック実施者	前垣 雅彦
承認	代表取締役 小 島 一 洋		

重点テーマ		具体的項目	責任者	担当者	2023 スケジュール（月）													達成状況								評価・指示 （1年に1回）
					8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	10月		1月		4月		7月			
					達成率	達成状況	達成率	達成状況	達成率	達成状況	達成率	達成状況	達成率	達成状況	達成率	達成状況	達成率	達成状況	達成率	達成状況						
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 基準比2%削減	空調の適温化、扇風機の併用	小島	茂村														◎		◎		◎		◎	目標達成。OA機器の退社後・夜間・休日主電源オフの実施はできている。冷房・暖房時の適温化はこまめな温度調節を徹底していく。次年度も同様継続する。	
		不要時、休憩時の消灯														◎		◎		◎		◎				
		クールウォームビズの励行														◎		◎		◎		◎				
		OA機器の省電力化設定														◎		◎		◎		◎				
		エアコンのフィルター掃除														◎		◎		◎		◎				
	燃料使用量 基準比2%削減 (現場・事務所)	エコドライブ10の励行	小島	全社員														◎		◎		◎		◎	目標未達成。遠距離現場によりガソリンの使用量が増えた。重機、タンクの燃料は必要不可欠であるが、定期点検や車両整備に努める。次年度も目標達成に取り組む。	
		車両整備を適正に実施															◎		◎		◎		◎			
		過積載の徹底管理															◎		◎		◎		◎			
		建設機械のアイドリング防止															◎		◎		◎		◎			
		建設機械等作業時過負荷運転防止															◎		◎		◎		◎			
廃棄物排出量の削減 基準比2%削減 (現場・事務所)	分別排出、選別の徹底、リサイクル	小島	全社員														◎		◎		◎		◎	目標達成。工事内容に影響されるが、産業廃棄物は現場内にて適切に再資源化できている。更に有効利用し次年度も継続する。		
	マニフェストの管理、保管、確認																◎		◎		◎		◎			
	事務用紙使用量の削減																◎		◎		◎		◎			
	プレビューの徹底、裏紙使用																◎		◎		◎		◎			
水使用量の削減 基準比2%削減 (事務所)	こまめに蛇口をしめる	小島	全社員														◎		◎		◎		◎	目標達成。日常的な節水により削減できた。次年度も同様継続する。		
	定期的に漏水点検															○		◎		○		◎				
グリーン購入の推進 (事務所)		エコマーク商品を優先的に購入 グリーン商品調達の徹底	小島	茂村													○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	達成率・達成状況共に良。次年度も継続する。	
製品への環境配慮 (過剰在庫ロス削減) (現 場)		実使用数量／購入数量現場実測し、ロスをなくす	小島	工務													○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	達成率・達成状況共に良。次年度も在庫管理を徹底する。	
化学物質使用量の把握 (現 場)		化学物質に関する情報収集し、 3か月1回会議を開く。	小島	工務													○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	達成率・達成状況共に良。次年度も継続する。	
社会貢献活動 (現場・事務所)		年4回会社周辺の清掃等美化活動を推進	小島	全社員													○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	達成率・達成状況共に良。次年度も継続する。	

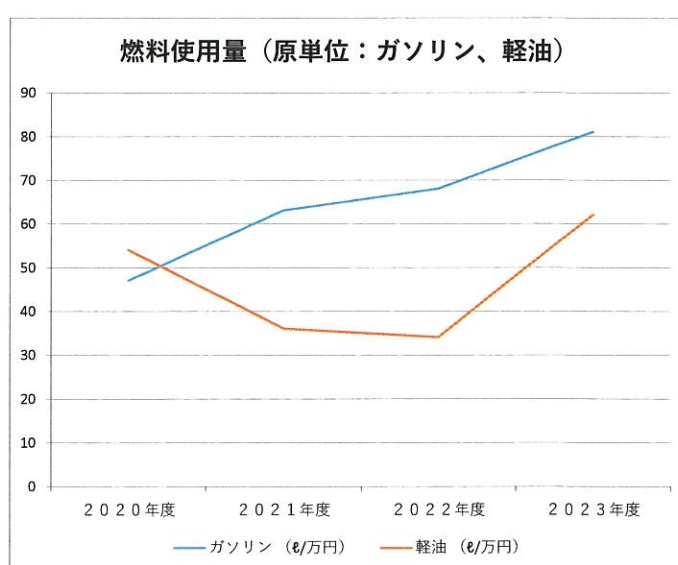
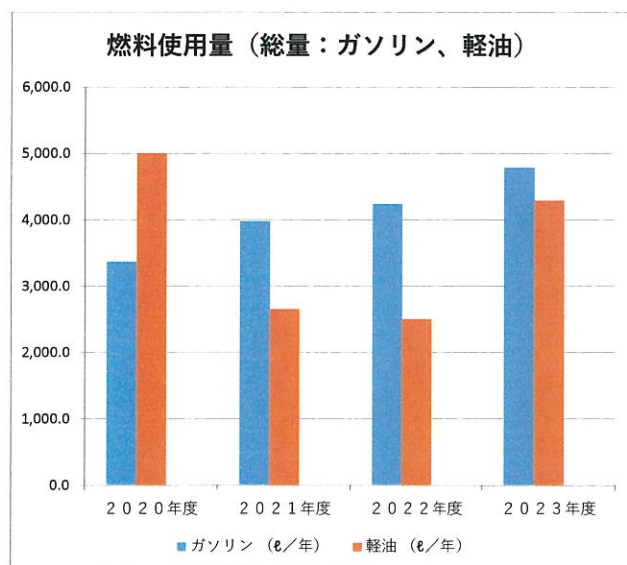
達成率 ○8割達成 △5割達成 ×5割以下
達成状況 ◎十分にできている ○ほぼできている △まだ不十分 ×できていない

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)
2020年度	3,358.8	4,998.0
2021年度	3,970.8	2,643.5
2022年度	4,236.5	2,497.8
2023年度	4,787.5	4,285.2

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／万円

年度	ガソリン (ℓ／万円)	軽油 (ℓ／万円)
2020年度	47	54
2021年度	63	36
2022年度	68	34
2023年度	81	62

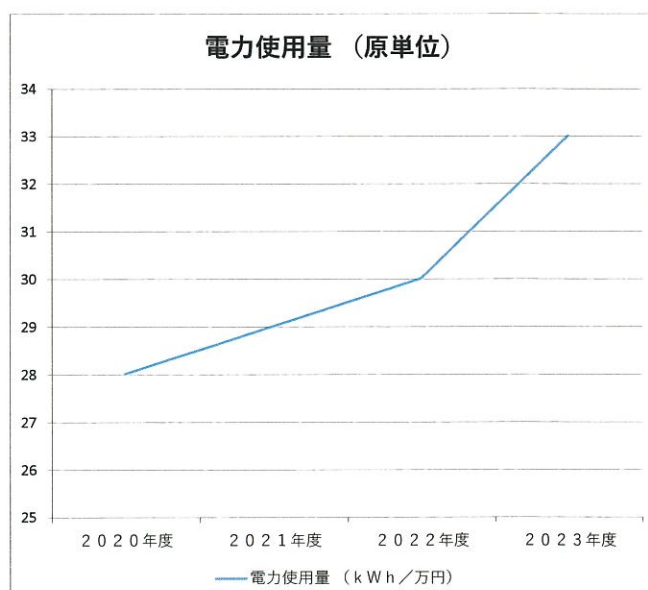
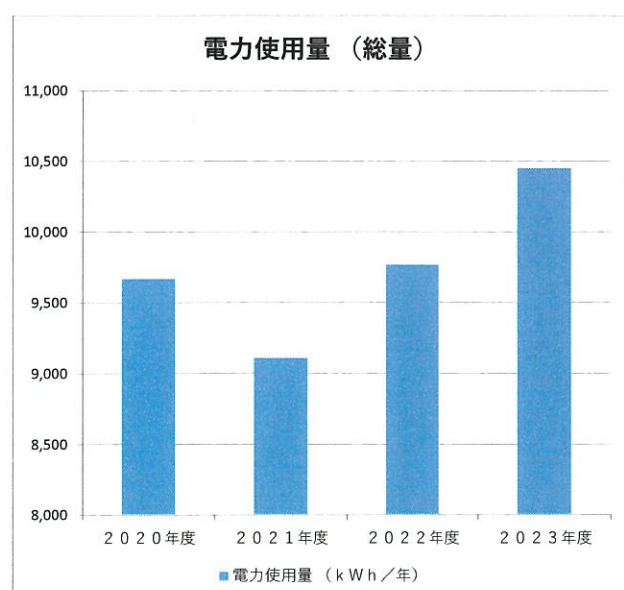


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2020年度	9,664
2021年度	9,104
2022年度	9,762
2023年度	10,446

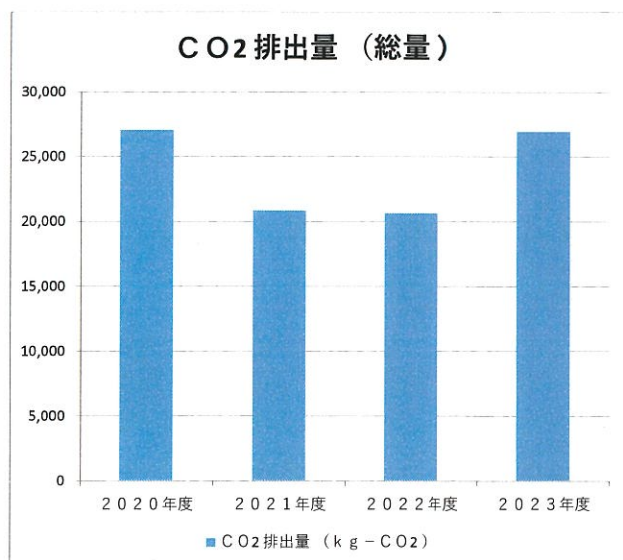
電力使用量（原単位：kWh／万円）

年度	電力使用量 (kWh／万円)
2020年度	28
2021年度	29
2022年度	30
2023年度	33



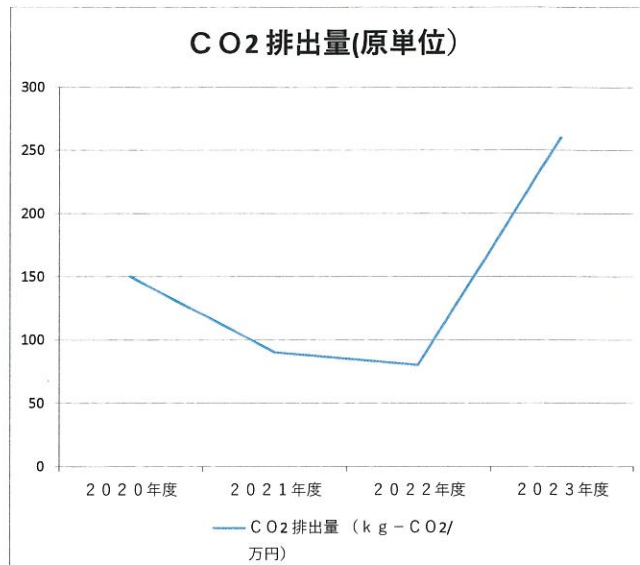
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2020年度	27,015
2021年度	20,830
2022年度	20,626
2023年度	26,905



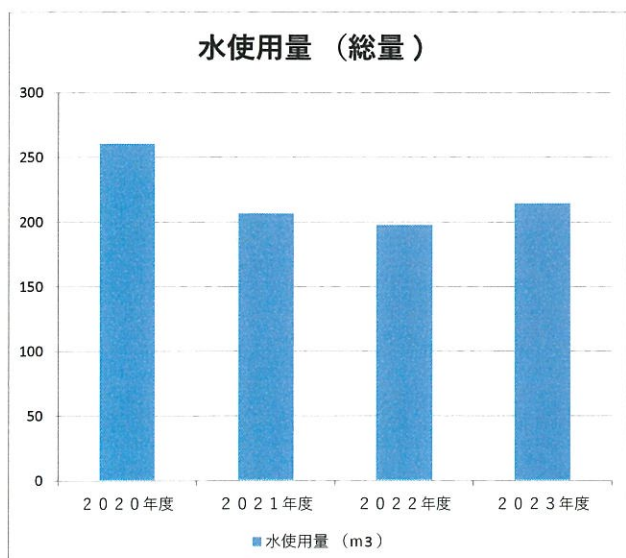
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /万円)
2020年度	150
2021年度	90
2022年度	80
2023年度	260



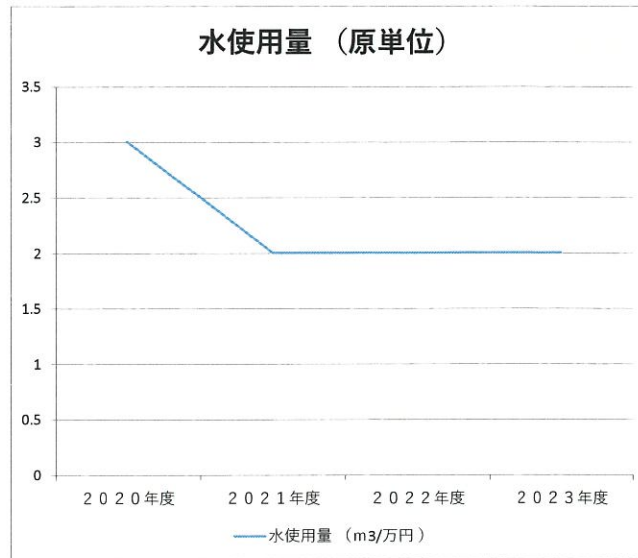
水使用量 (総量 : m³)

年度	水使用量 (m ³)
2020年度	260
2021年度	206
2022年度	197
2023年度	214



水使用量 (原単位 : m³/万円)

年度	水使用量 (m ³ /万円)
2020年度	3
2021年度	2
2022年度	2
2023年度	2



【環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無】

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

※該当しなかった場合は該当なしと記載

環境法規制等の名称	要求事項	遵守状況の確認	判定
廃棄物処理法	委託契約の締結	確認	○
	マニフェストの交付 廃棄物保管場所設置看板表示	遵守	
労働安全衛生法	石綿等の除去作業（封じ込め、囲い込み作業含む）	遵守	○
リサイクル法	再資源利用計画書・実施書の作成	遵守	○
再資源利用促進計画書・実施書の作成	再資源利用計画書・実施書の作成	遵守	○
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書作成 知事への届出書	書類の確認	○
容器包装リサイクル法	市町村が定めた分別の基準に従い 容器包装廃棄物も適正に分別排出する	遵守	○
家電リサイクル法	小売店へ料金を支払い引き渡す又は 自治体指定の方法で引き取り依頼する	遵守	○
建設廃棄物処理マニュアル	収集運搬業者、処分業者の許可証確認 中間処理場、最終処分場の確認	確認	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	排出ガス対策型であることの確認	遵守	○
騒音規制法	市町村へ事前確認 特定建設作業届出書	遵守	○
振動規制法	市町村へ事前確認 特定建設作業届出書	遵守	○
浄化槽法	設置の届出、使用廃止後30日以内の届出 11条定期検査の受検	遵守	○
消防法	少量危険物の貯蔵・取扱管理記録 あらかじめ所轄消防長又は消防署長に届出	遵守	○
高圧ガス保安法	溶接又は熱切断用高圧ガスの保安基準等	書類の確認・遵守	○
学校環境衛生の基準	全ての学校	遵守	○
作業所で同意するその他の要求事項	仕様書・近隣協定・近隣からの要望で同意するもの 発注者からの要望	書類の確認・遵守	○
建設業の環境自主行動計画第4版	環境リスクの低減・地球温暖化対策 建設副産物対策・有害物質・化学物質対策	遵守	○
地方自治体の各条例	条例に従う	書類の確認・遵守	○
フロン排出抑制法	簡易点検：3か月に1回以上	書類の確認・遵守	○
徳島県生活環境保全条例	徳島県における環境保全条例を遵守	遵守	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた 気候変動対策推進条例	環境マネジメントシステムの導入等 温室効果ガス排出の抑制	遵守	○

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。
近隣住民から特に指摘は無く、また訴訟等も同様に1件もありませんでした。

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

エコアクション21の取り組み、又、徳島SDGSパートナー制度の登録等で各自エコアクション21の
取り組み方への意識が変わってきているように見られる。
今後共企業理念、環境経営方針に基づき、工事件数にかかわらず原単位での削減を工夫し、
計画目標値の達成・維持ができるように努めていきたい。
環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制についてはいずれも見直しの必要はないと考えます。

令和6年7月31日
代表取締役社長 小島 一洋